Creative Enzymes®

CL075

Cat. No. LIGC-007

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	CL075は、ヒト末梢血単核細胞においてTLR8を刺激するチアゾロキノロン誘導体です。これはNF-κBを活性化し、TNF-αおよびIL-12の生成を優先的に引き起こします。CL075はまた、TLR7を介してIFN-αの分泌を誘導するようですが、その程度は少ないようです。これは、TLR8遺伝子導入HEK293細胞において0.4 μM（0.1 μg/ml）でNF-κBの活性化を誘導し、TLR7遺伝子導入HEK293細胞ではNF-κBを活性化するために約10倍のCL075が必要です。

製品情報

外□	黄色の凍結乾燥粉末
分子式	C13H13N3S
分子量	243.33
濃度	作業濃度： 0.1 - 5 μg/ml CL075（ヒトTLR8およびマウスTLR7用） 0.5 - 5 μg/ml CL075（ヒトTLR7用）
特異性	ヒト TLR7/8 およびマウス TLR7 アゴニスト
溶解度	水中の1 mg/ml
エンドトキシンレベル	<0.001 EU/μg

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで保管してください。
安定性	凍結乾燥製品は、適切に保存された場合、-20°Cで1年間安定しています。再懸濁したCL075は、アリコートして-20°Cで保存する必要があります。再懸濁した製品は、-20°Cで6ヶ月間安定しています。繰り返しの凍結-解凍サイクルを避けてください。